

保護者様

令和6年10月1日

京都市立南大内小学校  
校長 皆川 真有美

## 令和6年度 学校評価アンケート＜前期＞

平素より本校教育推進に多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

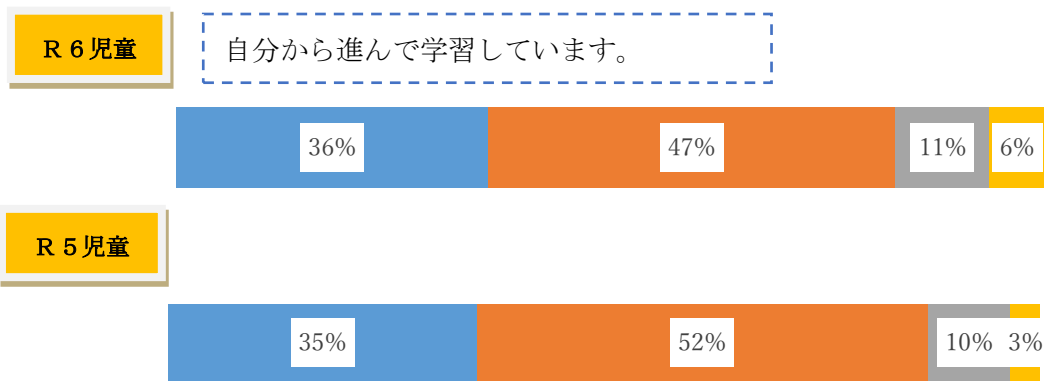
さて、6月末に実施しました学校評価アンケートの結果についてお伝えします。アンケートの数値と子どもたちの様子や保護者の皆様のご意見をもとに、計画・実行・点検・検証（PDCA）のサイクルで学校教育の充実と向上を図りたいと考えております。

＊グラフの項目、左より 「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」

### 1 「確かな学力」の育成に向けて

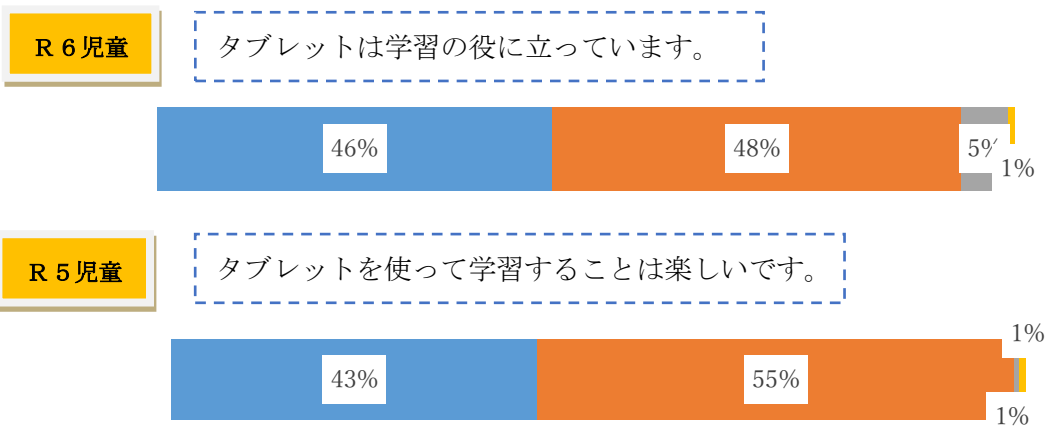
本校の学校教育目標の中に、『自らを高める』とあります。本校では子どもたちが「主体的に学ぶこと」を実現し、自らを高めることができる資質・能力を育てることを目指しています。

『自らを高める』を実践できているか以下のアンケート項目の結果をご覧ください。



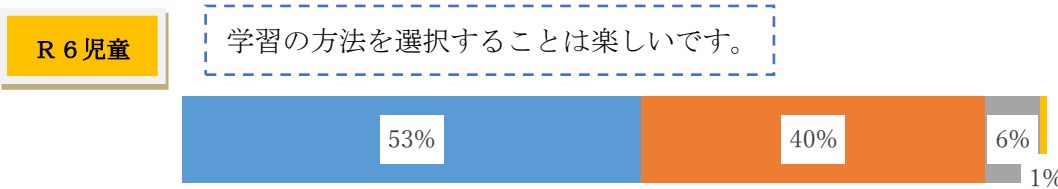
児童アンケート項目「自分から進んで学習しています。」の今年度と昨年度の比較です。「そう思う」と回答した児童は今年度と昨年度に大きな違いはありません。しかし、「大体そう思う」を比較すると、今年度の割合が昨年度の割合よりも5%減少していました。

この結果を受け止め、児童には改めて学習する大切さを伝えていこうと思います。また、学習が習慣づくような工夫や取り組みをしたり、児童が進んで学習できる環境を整えたりしていこうと思います。



1人1台端末が導入され、数年が経ちます。学習の形態も時代に合わせて変化しています。児童は疑問に思ったことや分からないことを、タブレット端末ですぐに調べる力が身につけてきています。また、友達と意見や考えを共有したり、友達の意見や考えを参考にしたりする場合に、タブレット端末が大変役に立っています。

昨年度の「タブレットを使って学習することは楽しいです。」という項目と今年度の「タブレットは学習の役に立っています。」という項目を見ても分かるように、児童にとってタブレット端末は「楽しい」だけでなく「役に立つ」ものとして確立してきたことが分かります。



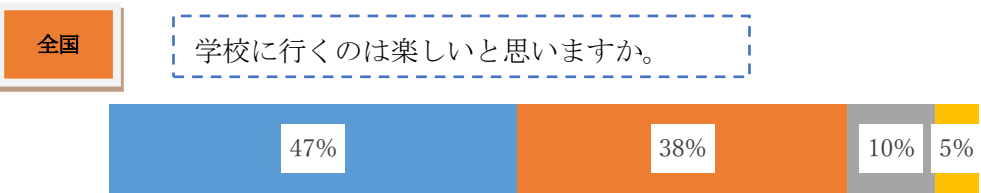
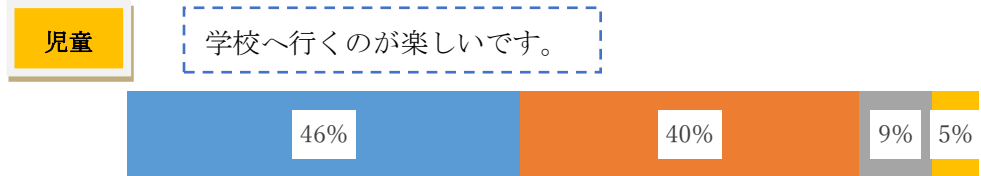
上記でも述べたように学習の形態も変化しています。児童は自分にあった学習方法を選択して、学習に向き合うようになってきています。本校では授業の中で、「ノートに書く」場面と「タブレットで入力する」場面を選択することも多くなってきています。そのことが、児童アンケート項目「学習の方法を選択することは楽しいです。」の数値が9割以上につながっていると考えられます。今後はさらに目的やめあてに合わせて、自分の学びを子どもたちが自ら作っていくことで、学習自体を楽しいと感じられるように取り組んでいこうと思います。

そして、興味・関心のあることはもちろん、様々なことに対して積極的に学んでいく子を育成したいと考えます。

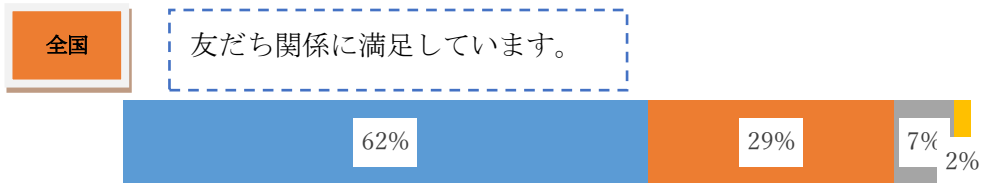
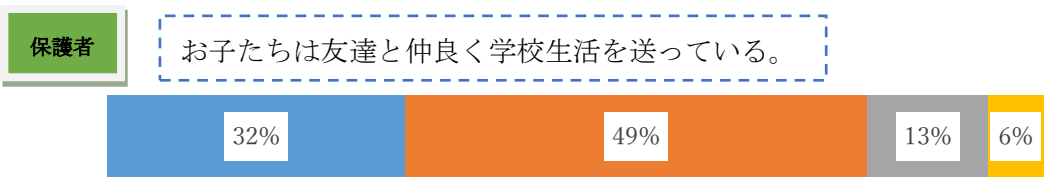
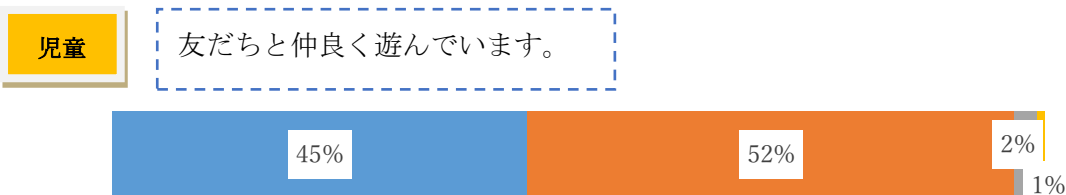
2 「豊かな心」の育成に向けて

豊かな心の育成のためには、学級や学年の枠をこえて、支えあい、高め合う集団作りが大切です。そのため、本年度はたてわり活動により一層力を入れ、集団の力はもちろん、個の力を伸ばしていこうと考えています。また、日々の学校生活の中で、周囲の多様性を理解することで、みんなが安心して学校に登校できると考えています。

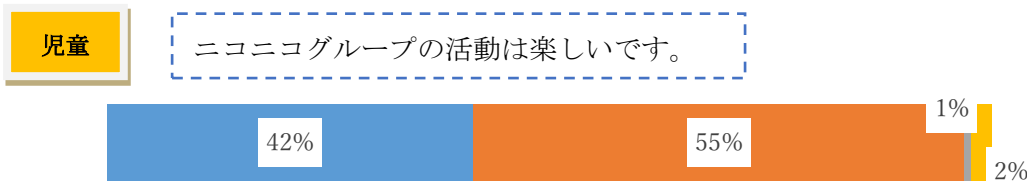
子どもたちがどのような思いで日々の学校生活を過ごしているかを把握し、豊かな心の育成を目指していきたいと思います。



「学校へ行くのが楽しいです」の項目を見ると、楽しいと感じている児童が多いことがわかります。全国学力調査質問紙の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」と比較をしても本校児童が安心をして登校できていると思います。また、昨年度 10%だった「そう思わない」が、本年度は 5%に減少していることは嬉しいことです。しかし、以前として「学校へ行くのが楽しい」と感じていない児童もいます。そのような児童の声に耳を傾け、細かな対応を心がけていきます。そして、豊かな心を育成していきたいと思います。



児童アンケート項目「友だちと仲良く遊んでいます。」の結果を見ると 9 割以上の児童が友だちと仲良く遊んでいると回答しています。この結果は全国学力調査質問紙の「友だち関係に満足しています。」と比較しても遜色ない結果になっています。また、保護者アンケート項目「お子たちは友だちと仲良く学校生活を送っている。」の結果を見ると 8 割以上の保護者の方が友だちと仲良く学校生活を送っていると回答しています。充実した友だち関係は豊かな心を育成するうえで大きな役割を果たしていると考えています。



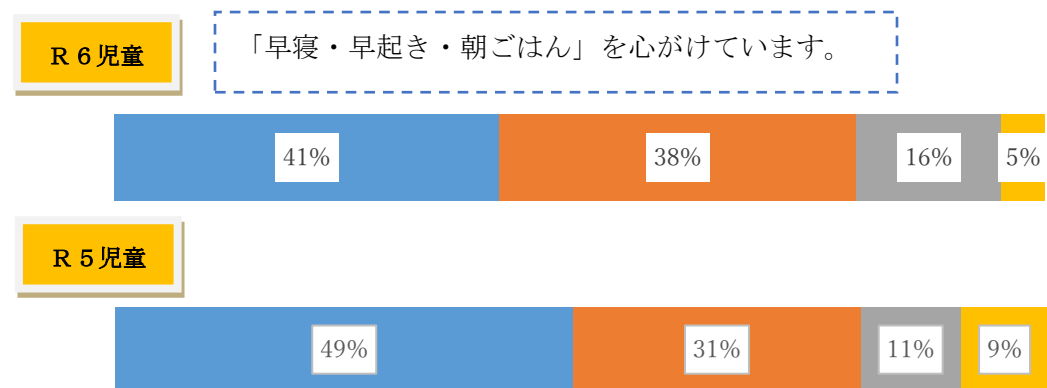
本年度、南大内小学校では昨年度以上にたてわり活動に力を入れています。本校はすべての学年が単級のため、人間関係が固執しやすく、他学級との交流の機会がありません。そのため、縦割り活動を通じて多くの経験や体験を児童にしてほしいと考えています。

児童アンケート項目「ニコニコグループの活動は楽しいです。」の回答結果をみると、9 7 %の児童がたてわり活動を楽しんでいると感じています。上級生は下級生の手本になるようにリーダーシップをとります。下級生は上級生から多くのことを学ぶことができます。

これからもたてわり活動を通して、お互いに思いやることができる関係を築いていきたいと思います。そして、「豊かな心」の育成につながっていけたらと考えています。

3 「健やかな体」の育成に向けて

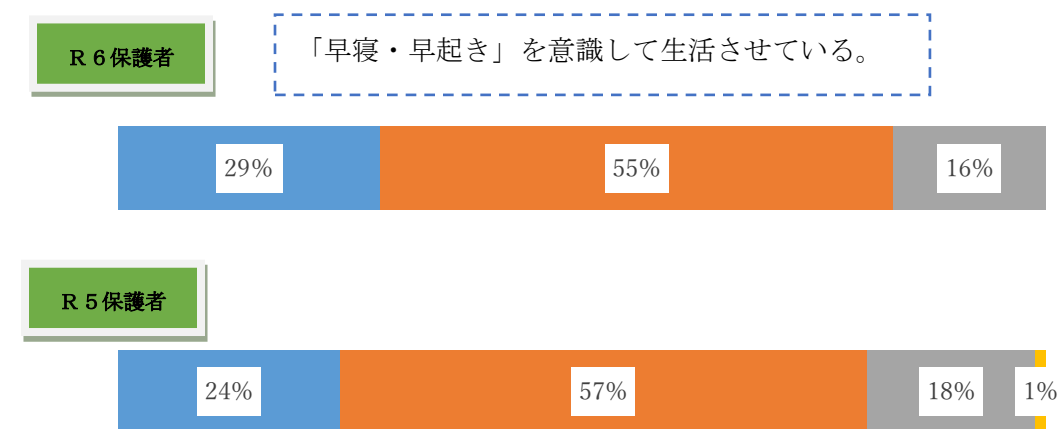
健やかな体の育成のためには学校や家庭、地域が協力して子どもたちに呼びかけていくことが大切です。そのためには規範意識をもち、規則正しい生活をするのが必須になると考えます。学校や家庭での子どもたちの様子を正確に把握し、健やかな体の成長を目指していきたいと思います。



児童アンケート項目「しっかり朝食をとるように働きかけている。」の結果を見ると、7割以上の児童が早寝・早起き・朝ごはんを心がけていると回答しました。昨年度の同項目と比較しても遜色ない結果になっています。しかし、「そう思う」の結果だけで比較すると8%減少していることが分かります。

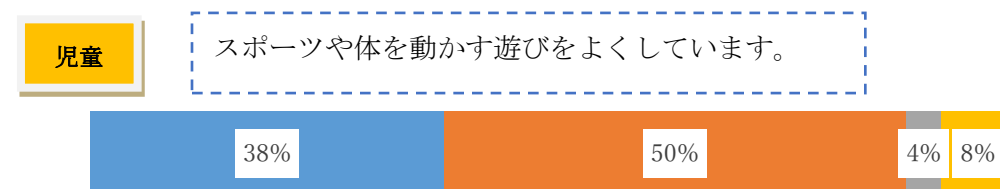
本校児童によると、「次の日が休み」や「長期休暇の間」、「習い事等で遅くなる時」はどうしても普段より早寝・早起きができず、朝ごはんを食べない日が稀にあるとのことでした。この実態が「そう思う」の割合が低くなったことに関係しているのではないのでしょうか。

食事と睡眠は1日を元気に過ごすうえで、とても大切です。休みの日であってもリズムを崩すことなく過すよう、今後も学校と家庭が協力して呼びかけていけたらと思います。



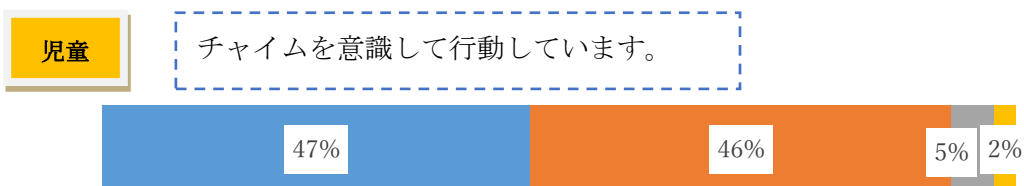
保護者アンケート項目「『早寝・早起き』を意識して生活させている。」の項目では「そう思う」「大体そう思う」が84%の割合を占めています。これは昨年度の同項目と比較しても3%増加しています。さらに、「そう思う」だけに注目してみると5%増加しています。また、本年度は「そう思わない」と回答した方がいなかったことも嬉しい結果です。

睡眠は食事と同じくらい体づくりには欠かせないことですので、今後ともどうぞよろしくお願いします。

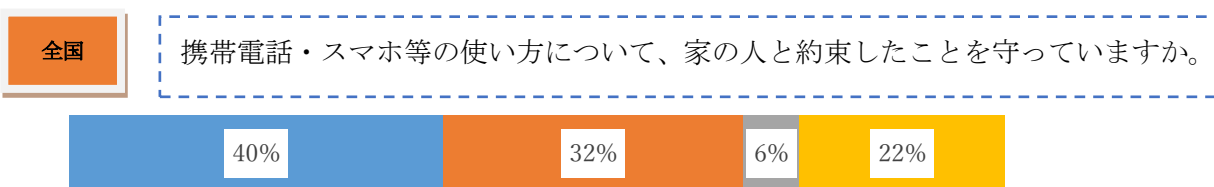
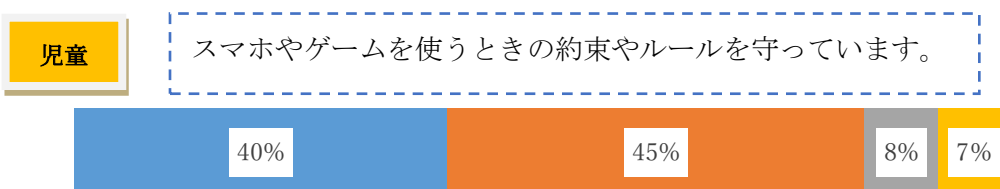


児童アンケート項目「スポーツや体を動かす遊びをよくしています」では、「そう思う」「大体そう思う」の割合が9割近かったです。本校児童の様子を見てみると、朝、中間、昼の休み時間はもちろん、放課後の下校までの時刻にも多くの児童が運動場で遊んでいます。「そう思う」「大体そう思う」がどんどん増えて、全校児童が「そう思う」「大体そう思う」になるように取り組んでいきたいと思います。

#### 4 その他



本年度、時間を守ることを大切にしたいという思いから、チャイムの回数を増やしています。児童アンケート項目「チャイムを意識して行動しています。」からも多くの児童はチャイムを意識して行動していることが伺えますが、行動できていない児童もいます。全校児童が「そう思う」の回答になるように更に取り組み、意識を高めていけたらと思います。



児童アンケート項目「スマホやゲームを使うときの約束やルールお守っています。」では85%の児童が「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。全国学力調査質問紙「携帯電話・スマホ等の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」と比較すると大幅に本校児童が上回っています。いくら便利なものでも、約束やきまりを守らなければトラブルのもとになります。全校みんなで約束やきまりを守り、楽しい学校生活を児童みんなで作っていけたらと思います。保護者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。